



平成 27 年 6 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 赤 阪 鐵 工 所
 代 表 者 名 取締役社長 赤 阪 全 七
 (コード番号 6022 東証第 2 部)
 問 合 せ 先 常務取締役総務経理管掌
 木 村 充 宏
 (TEL. 054 - 685 - 6081)

(訂正・数値データ訂正)

「平成 27 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

平成 27 年 5 月 13 日に発表いたしました「平成 27 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載内容について一部訂正がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正理由

「平成 27 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の公表後、再度精査を行った結果、記載内容に修正すべき箇所があることから、当該事項を訂正いたします。

2. 訂正箇所

各訂正箇所の【 】内は記載されたページ番号を表し、訂正箇所には下線を付しております。

【サマリー情報】

(訂正前)

1. 平成 27 年 3 月期の業績(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(略)

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27 年 3 月期	218	<u>△220</u>	△484	<u>2,691</u>
26 年 3 月期	1,104	△162	△622	3,180

(略)

(訂正後)

1. 平成 27 年 3 月期の業績(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(略)

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27 年 3 月期	218	<u>△320</u>	△484	<u>2,591</u>
26 年 3 月期	1,104	△162	△622	3,180

(略)

(訂正前)

3. 平成 28 年3月期の業績予想(平成 27 年4月 1 日～平成 28 年3月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第 2 四半期(累計)	4,300	△7.4	10	—	30	650.0	10	233.3	0	65
通 期	<u>8,100</u>	<u>△19.7</u>	100	—	<u>130</u>	—	100	—	6	53

(訂正後)

3. 平成 28 年3月期の業績予想(平成 27 年4月 1 日～平成 28 年3月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第 2 四半期(累計)	4,300	△7.4	10	—	30	650.0	10	233.3	0	65
通 期	<u>8,000</u>	<u>△20.7</u>	100	—	<u>150</u>	—	100	—	6	53

※ 業績予想の数値を訂正させて頂いておりますが、訂正後の数値は 5 月 13 日に取締役会で決議された数値であり、当該訂正は業績予想の変更ではなく決算短信作成担当者への入力誤りによるものです。

【2 ページ】

(2) 財政状態に関する分析

(訂正前)

(略)

② キャッシュ・フローの状況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ、4億 87 百万円減少し、当事業年度末には 26 億 91 百万円となりました。

(略)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億 20 百万円(前期比 36.0%増)となりました。これは主に定期預金の預入による支出1億 81 百万円や固定資産の取得による支出1億 6 百万円等による減少と、増加の要因としては定期預金の払戻による収入1億 26 百万円等によるものであります。

(訂正後)

(略)

② キャッシュ・フローの状況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ、5億 87 百万円減少し、当事業年度末には 25 億 91 百万円となりました。

(略)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億 20 百万円(前期比 97.8%増)となりました。これは主に定期預金の預入による支出5億 21 百万円や固定資産の取得による支出1億 12 百万円等による減少と、増加の要因としては定期預金の払戻による収入3億 66 百万円等によるものであります。

【13 ページ】

(4) キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
	(略)	
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△128,500	△181,500
定期預金の払戻による収入	180,000	126,000
	(略)	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162,096	△220,573
	(略)	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	320,271	△487,085
	(略)	
現金及び現金同等物の期末残高	3,179,073	2,691,987

(訂正後)

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
	(略)	
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△128,500	△521,500
定期預金の払戻による収入	180,000	366,000
	(略)	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162,096	△320,573
	(略)	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	320,271	△587,085
	(略)	
現金及び現金同等物の期末残高	3,179,073	2,591,987

以 上